

## 2DIN CD・AM/FM付 ステレオ

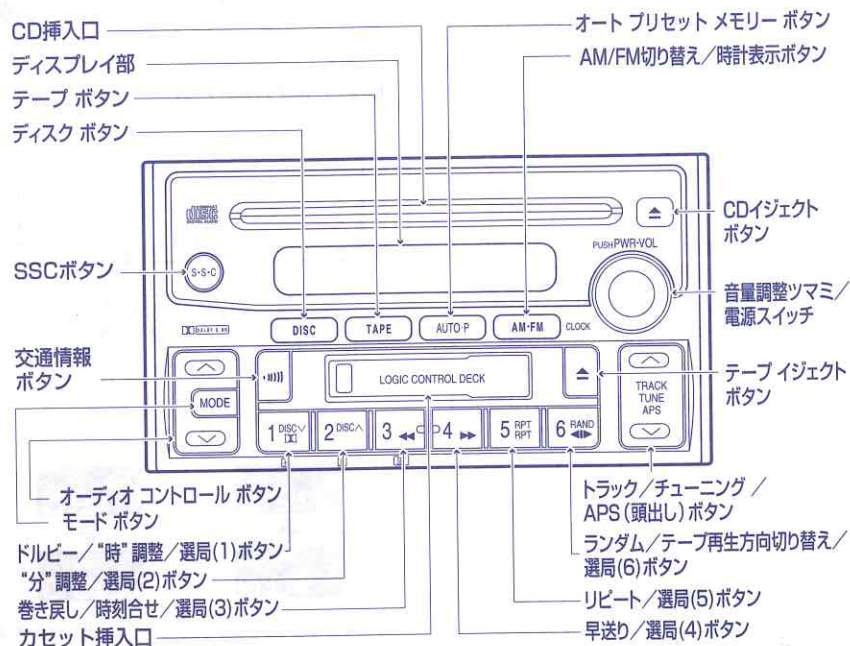
### 注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお楽しみください。大きな音量で鳴らすと車外の音が聞こえず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にオーディオの操作をしないでください。運転のさまたげになり思わぬ事故につながります。

### アドバイス

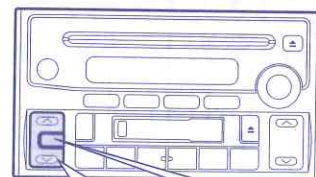
- オーディオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ(雑音)が入ることがあります。

### 各部の名称



### モードボタン

モードボタンでモードを切り替え、オーディオコントロールボタンで各種調整をおこなうことができます。モードは、モードボタンを押すごとにBAS→TRE→FAd→BALの順に切り替わります。



オーディオコントロールモードボタン

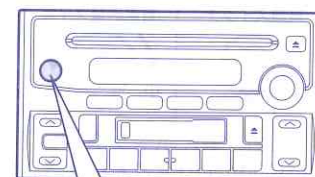
モードボタン	調整モード	低音	高音	前後音量バランス	左右音量バランス
	モード表示		BAS	TRE	FAd
オーディオコントロールボタンの操作	調整レベル範囲	-5 5	-5 5	R7 F7	L7 R7
		弱	強	前側小 後側小	右側小 左側小

### アドバイス

- 前後音量バランス調整 "FAd" 時、2スピーカー装着車は、未使用スピーカー位置にセットすると音が出なくなります。

### SSC\*ボタン

※Spectacular Sound Creatorの略  
グラフィックイコライザーやラウドネスとは違う、まったく新しい発想の原音表現。原音の波形を忠実に強調する波形強調回路です。この新しい音響処理技術が低音、高音を強調しても波形を崩すことなく中域とのバランスを保つことを可能にしました。  
いままでソースに含まれていながら再生できなかった音を引き出し、失われたサウンドを蘇らせます。



SSCボタン

SSCボタンを押すと、SSC1がディスプレイ部に表示されます。ボタンを押すごとに、SSC OFF→SSC1→SSC2→SSC3と切り替わります。

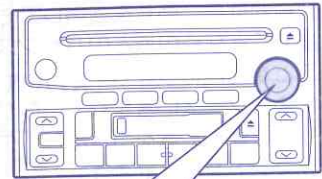
SSC1	音質効果が最大になります。
SSC2	音質効果が中程度になります。
SSC3	音質効果が小さくなります。

### アドバイス

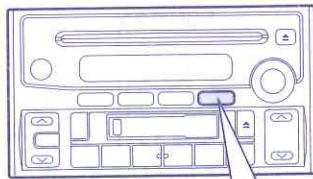
- SSCの音質効果が大きい場合、音がひずむことがあります。その場合は、SSC2またはSSC3に効果を下げてご使用ください。

■ ラジオの操作方法 ■

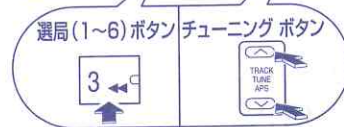
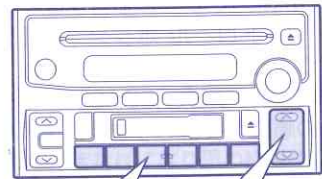
1. エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にします。電源スイッチを押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。音量調整ツマミを回して音量を調整します。



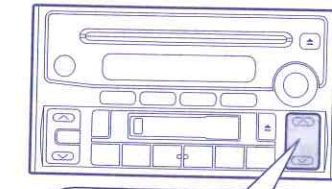
2. AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



3. チューニング ボタン、または選局ボタンを押して希望の局を選びます。



○ 選局のしかた



手動選局

チューニング ボタンを押して、希望の周波数にあわせます。このときディスプレイ部に、そのときどきの受信周波数が表示されます。

- 周波数の高い方へ選局するときは  
▲側
- 周波数の低い方へ選局するときは  
▼側

自動選局

チューニング ボタンを「ピッ」という音がするまで押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。受信感度が良く、ディスプレイ部に表示されている周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

このときディスプレイ部に、そのときどきの受信周波数が表示されます。自動選局を解除したいときは、チューニング ボタンをもう一度押すと解除できます。

- 周波数の高い方へ選局するときは  
▲側
- 周波数の低い方へ選局するときは  
▼側

アドバイス

- 山岳部や弱電界地域で、自動選局をおこなった場合、放送局があっても自動的に止まらないことがあります。手動選局をおこなってください。



## ○選局ボタンのセット

## プリセット メモリー

1. チューニング ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせませ
2. 選局 (1~6) ボタンのいずれか1つを「ピッ」と音がするまで押し続けます。音がするとそのボタンに放送局が記憶されます。



## アドバイス

- 自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局の周波数を記憶させておくとう便利です。
- AM/FM各6局まで周波数を記憶させることができます。
- バッテリー交換やヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときは、記憶されていた周波数はすべて消去されます。

## オート プリセット メモリー

1. オート プリセット メモリー ボタンを「ピッ」と音がするまで押し続けます。ディスプレイ部に“AUTO・P”と表示され、選局 (1~6) ボタンに自動的に放送局が記憶されます。ボタンを押すたびに新しい周波数を記憶しなおします。
2. オート プリセットで記憶された周波数を変更するときは、チューニング ボタンを押して、記憶させたい周波数を選択し、変更したい周波数が記憶されている選局ボタンを「ピッ」と音がするまで押し続けます。
3. オート プリセットで記憶された放送局を解除するときは、オート プリセット メモリー ボタンを押して、すぐ手を離してください。ディスプレイ部の“AUTO・P”の表示が消えてボタンを押す前の状態に戻ります。



オート プリセット メモリー ボタン

AUTO P

## アドバイス

- 現在受信状態の良い放送局を選局ボタンに自動的に記憶します。
- 放送局の選局ボタンへの記憶は、周波数の低いものから順に選局ボタンに記憶されていきます。
- 強い電波の放送局が6局以上ないときは、受信できた局だけを記憶します。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニング ボタンで選択し、記憶させた周波数とオート プリセット メモリー ボタンで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- オート プリセット メモリー ボタンによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

## ○交通情報ボタン

1. 交通情報をおこなっている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。交通情報ボタンを押すと交通情報局が受信できます。もう一度ボタンを押すと解除されます。
2. 交通情報ボタンの周波数を変更する場合は、AM/FM切り替えボタンでAMを選択し、チューニング ボタンで記憶させたい周波数を選び、交通情報ボタンを「ピッ」と音がするまで押し続けます。



交通情報ボタン

AM/FM切り替えボタン

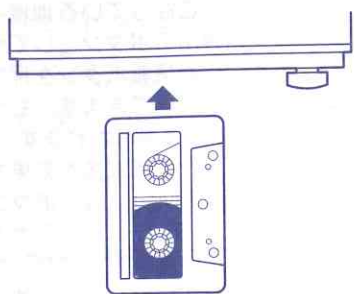
チューニングボタン

## アドバイス

- 交通情報の周波数変更はAM選択時のみおこなうことができます。
- 交通情報をおこなっていない地域では受信できません。
- 車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合はAM1620kHzにセットされます。
- 交通情報ボタンを押して、ラジオを受信しているときは、チューニング ボタン、選局ボタン、オート プリセット メモリー ボタンを押しても、周波数は切り替わりません。

■ カセット プレーヤーの操作方法 ■

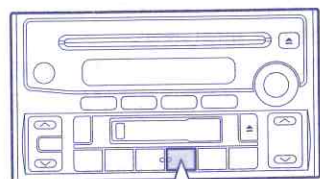
○ 早送りの場合



エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にし、テープ ボタンを押すとテープが再生されます。また、テープの見える面を右側に挿入すると、同時に再生を開始します。

アドバイス

- テープを差し込んで数秒たってもセットされずにテープが戻ってくることがあります。この場合はテープの異常が考えられますので、テープを取り出し、テープに異常がないかを確認してください。
- テープが差し込まれた状態でエンジンを始動すると「カチッ」という音が数回しますが、これはテープ機構の準備動作音で故障ではありません。

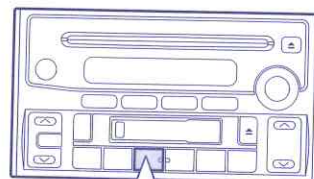


早送りボタン



早送りボタンを押します。このとき、ディスプレイ部に“FF”（早送り表示）が表示されます。

○ 巻き戻しの場合

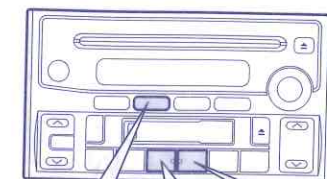


巻き戻しボタン



巻き戻しボタンを押します。このとき、ディスプレイ部に“REW”（巻き戻し表示）が表示されます。

○ 早送り、巻き戻しを途中で解除する場合



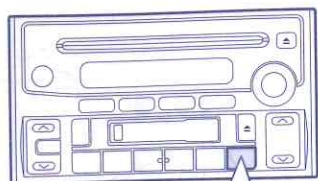
テープボタン 巻き戻しボタン 早送りボタン



押されたボタンをもう一度押すか、テープ ボタンを押します。



○テープ再生方向切り替えボタン

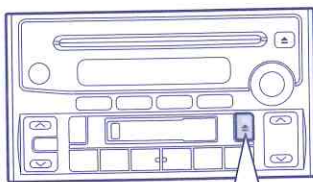


テープ再生方向切り替えボタン



ボタンを押すとテープの再生方向が切り替わります。

○テープ イジェクト ボタン



テープ イジェクト ボタン

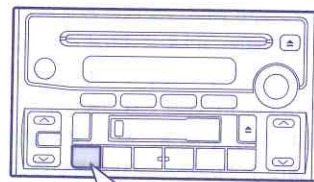


テープ イジェクト ボタンを押すとカセットテープが飛び出します。テープが取り出されるとテープ挿入前の状態に戻ります。

アドバイス

- エンジン スイッチを“LOCK”にする時は必ずイジェクト ボタンを先に押してテープを取り出してください。
- エンジン スイッチを“LOCK”にするとテープを取り出すことができません。エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にして取り出してください。

○ドルビー ボタン



ドルビー ボタン

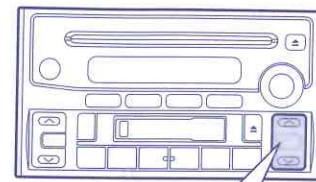


ドルビー (B) NRで録音されたテープを使用するとき押しします。ボタンを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。ONのときは、ディスプレイ部に「B」表示されます。

アドバイス

- ドルビー録音されていないテープをドルビー“ON”の状態できくと高音域が低下して聞こえることがあります。録音状態に応じてドルビーNRボタンのON、OFFをおこなってください。
- ドルビー ノイズ リダクションはドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。「B」はドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの登録商標です。

○APS (頭出し) ボタン



APS (頭出し) ボタン



再生されているテープの前後9曲の中から希望の曲を頭出しすることができます。

先の曲頭出し

APS (頭出し) ボタンの△側を曲数分だけ押しします。このときディスプレイ部には曲数が表示されます。

前の曲頭出し

APS (頭出し) ボタンの▽側を曲数分だけ押しします。このときディスプレイ部には曲数が表示されます。

アドバイス

- 曲をもどすときは、現在お聞きになっている曲も曲数に含まれるため、曲数プラス1曲分押しします。
- 曲と曲の無録音部分が3秒以下のテープや、曲の中に極めて小さい音や長い休止などのあるテープ、または曲の始まりと終わりが不明確なテープは、自動選曲が正常に作動しないことがあります。